

26. 血液腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数		治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	化学療法	移植			放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
				自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	体外照射	全身照射			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 血液腫瘍内科	3	3	状況	○	○	○	×	×	×	ガイドラインを遵守し、EBMIに基づいた診療を実践しています。	ア	血液腫瘍内科 http://www.kmu.ac.jp/takii/medical/shinryoukamoku/t-shinryoukamoku001.html	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	あり	なし	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
2 放射線科	2	2	状況	×	×	×	×	○	○	超高圧X線治療機器2台を整備し、CTIによる治療計画を行い、放射線治療の対象となるあらゆる種類の悪性腫瘍に対して、副作用が少なく局所制御が高い治療を目指しています。	ア	http://www.kmu.ac.jp/takii/medical/shinryoukamoku/t-shinryoukamoku17.html	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	あり	なし		イ	http://			
3			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
4			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
5			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫
	急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、非ホジキンリンパ腫